

人体の構造と機能及び疾病

問題 1 身体の標準的な成長・発達に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 器官が形成され始めるのは、受精後24週以降である。
- 2 体重が出生時の約2倍になるのは、出生後3～4か月である。
- 3 身長が出生時の約2倍になるのは、2歳前後である。
- 4 乳歯は、生えそろうと32本になる。
- 5 リンパ系組織が成長のピークとなるのは、乳幼児期である。

問題 2 加齢に伴う生理機能の変化に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 体重に占める水分の割合は増加する。
- 2 収縮期血圧と拡張期血圧の差は縮小する。
- 3 聴力は高周波音域から低下する。
- 4 肺活量は維持される。
- 5 流動性知能は維持される。

問題 3 心臓の正常解剖に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 冠状動脈は大動脈起始部より分岐する。
- 2 右心房と右心室の間の弁を僧帽弁という。
- 3 上大静脈と下大静脈は左心房に開口する。
- 4 肺静脈の中の血液は静脈血である。
- 5 冠静脈洞は左心房に開口する。

問題 4 感染症に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 疥癬かいせんの他者への感染を予防するために、患者の使用した食器の消毒を行う。
- 2 結核は、空気中に浮遊する病原菌を吸入することで感染する。
- 3 ヒト免疫不全ウイルス(H I V)は、水や食べ物を通して感染する。
- 4 デング熱は、マダニを介して感染する。
- 5 C型肝炎ウイルスの感染予防には、ワクチンが実用化されている。

問題 5 生活習慣病に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 発症に生活習慣の関与が強いのは、2型糖尿病よりも1型糖尿病である。
- 2 アルコール摂取量は、メタボリックシンドロームの診断基準に含まれる。
- 3 生活習慣病の発症に、遺伝要因は関与しない。
- 4 喫煙は、膀胱がんの危険因子の一つである。
- 5 身体活動レベルの増大は、生活習慣病の発症リスクを上げる。

問題 6 レビー小体型認知症に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 米国人によって提唱された疾患である。
- 2 レビー小体は主に脊髄に蓄積する。
- 3 臨床診断に用いる中核的特徴にパーキンソン症状がある。
- 4 幻覚症状の中では幻聴が最も多い。
- 5 前頭側頭型認知症とも呼ばれる。

問題 7 精神疾患の診断・統計マニュアル(D S M - 5)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 作成したのは世界保健機関(W H O)である。
- 2 精神障害を内因性、心因性という名称で分類している。
- 3 身体疾患の診断基準も掲載している。
- 4 多軸診断システムを用いている。
- 5 操作的診断基準によって診断する。